

第14回熊本市液状化対策技術検討委員会 報告資料 【近見地区】

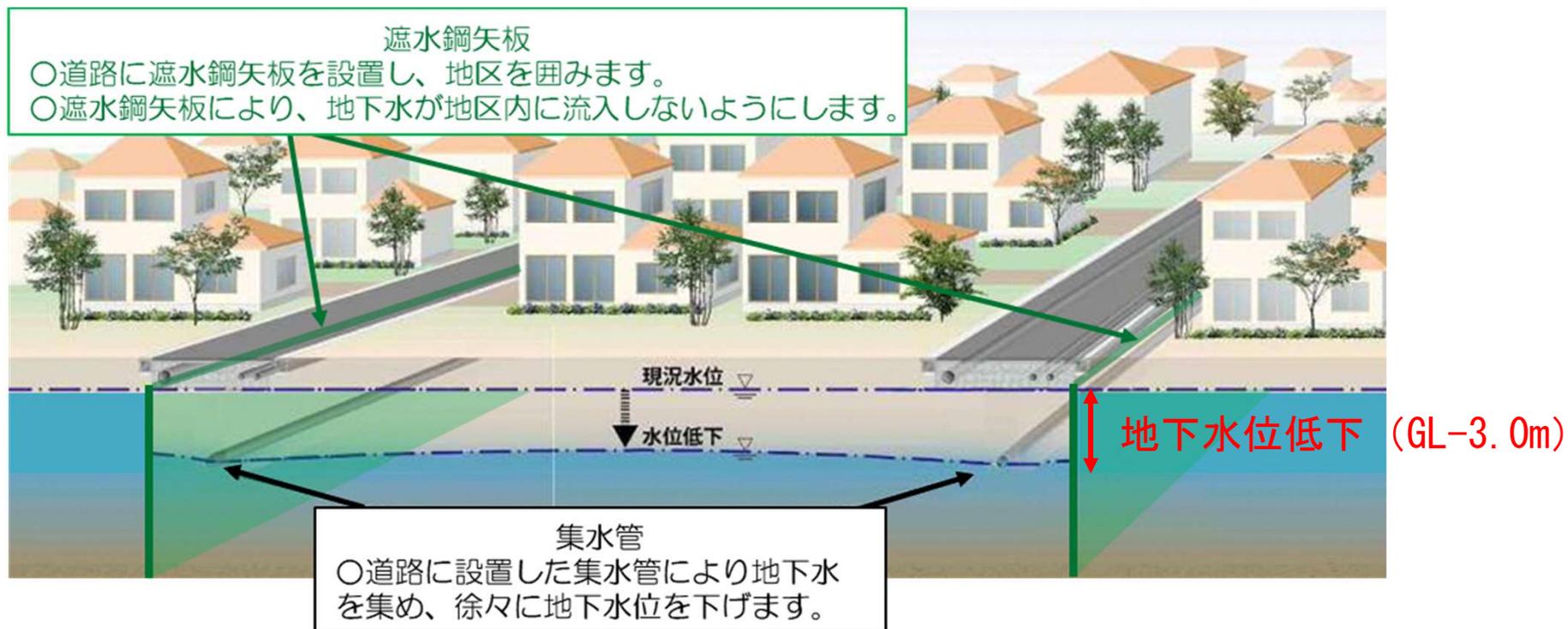
【報告 1 地下水再利用計画について】

熊本市

令和4年3月14日

報告 1 地下水再利用計画について

地下水位低下工法では、集水管等で地下水を集め区域外に排水する。



液状化対策（地下水位低下工法）で排水する地下水の再利用方法について検討を行った。

なお、事前の水質検査の結果、近見地区で実施している地下水低下工法に伴い排水する地下水は飲料用としては使用できないため、『生活用水』への利用を目的として検討を進めることとした。

報告 1 地下水再利用計画について

●地下水再利用案の選定

	案-1：手押しポンプでの生活用水への再利用	案-2：マンホールトイレでの再利用	案-3：雑用水への転用
概略図	 <p>熊本駅の手押しポンプ</p> <p>可搬式手押しポンプ</p>	 <p>既設マンホール(公共下水道)</p> <p>小型マンホール(マンホールトイレ設置)</p> <p>注水用マンホール</p> <p>備品収納3号マンホール</p> <p>①</p> <p><完成イメージ></p>	
概要	<p>災害時にマンホールや観測井戸から採水し、生活用水として利用する案。 ポンプは可搬式を想定する。</p>	<p>災害時にマンホールトレイに使用する案。 日吉小等は上下水道局が整備を計画している。 区域外の公園に整備することを想定。</p>	<p>道路清掃用水など雑用水として利用する案。 マンホールが市道内にあるため地下水を貯留・積込する施設が別途必要。</p>
コスト	○	△	△
評価	○	△	△

地下水の再利用は、『災害時に手押しポンプを用いて生活用水として再利用』する。

